

地震が起きた時の行動

グラッときたら
地震発生!
最初の大きな揺れは約1分

1~4分

5~10分

10分~
数時間後

避難生活

命を守る

揺れやすい地域の人とはとにかく**すぐ避難!**







家族を守る

揺れが収まってから行動

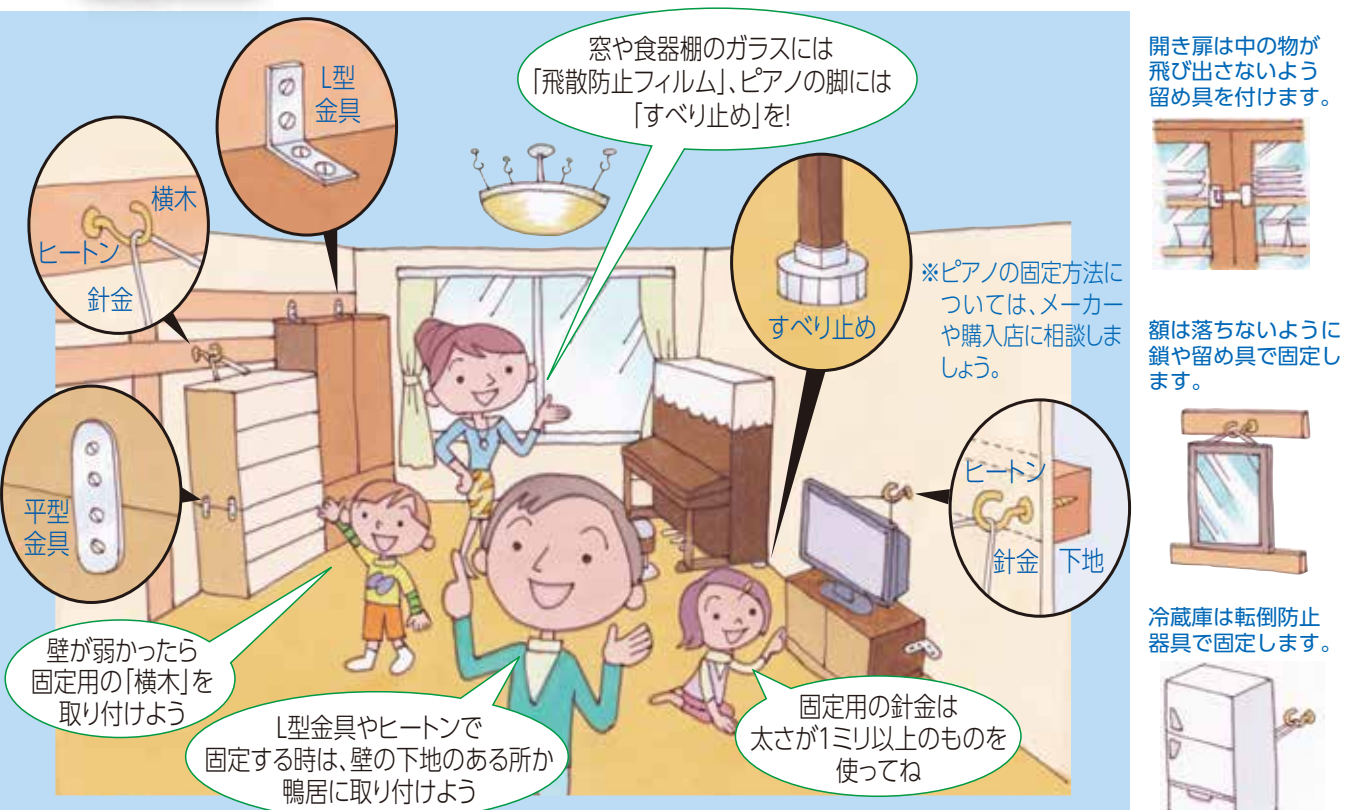
地域を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確認する
- 家族の安全を確認
- ガスの元栓を閉めるなど火の元を確認・初期消火
- 足をケガしないように靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意
- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- 火が天井に達したり家屋倒壊などのおそれがあれば避難する
- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る

外出時の行動

<p>職場では...</p> <p>OA機器やキャビネットなどから離れ、頭部を保護して机の下にもぐりましょう。</p> 	<p>学校・塾では...</p> <p>教室では机の下などに隠れます。体育館や運動場では真ん中に集まってしゃがみます。</p> 	<p>デパート・スーパーでは...</p> <p>バッグや買い物かごなどで頭部を保護し、ショーケースから離れます。係員の指示に従います。</p> 	<p>地下街では...</p> <p>バッグなどで頭部を保護します。停電になっても非常灯がつくまで動かないようにしましょう。</p> 
<p>家の周囲では...</p> <p>屋根からの瓦や窓ガラスの破片など落下物に注意しましょう。</p> 	<p>エレベーターでは...</p> <p>全ての階のボタンを押し、最初に止まった階でおります。動かない時は非常用連絡ボタンを押しします。</p> 	<p>電車・バスの中では...</p> <p>姿勢を低くして頭部をカバンなどで保護します。</p> 	<p>山・丘陵地では...</p> <p>まずは、落石から身を守りましょう。崖や急傾斜地などから、できるだけ離れましょう。</p> 

耐震対策



窓や食器棚のガラスには「飛散防止フィルム」、ピアノの脚には「すべり止め」を!

壁が弱かったら固定用の「横木」を取り付けよう

L型金具やヒートンで固定する時は、壁の下地のある所か鴨居に取り付けよう

固定用の針金は太さが1ミリ以上のものを使ってね

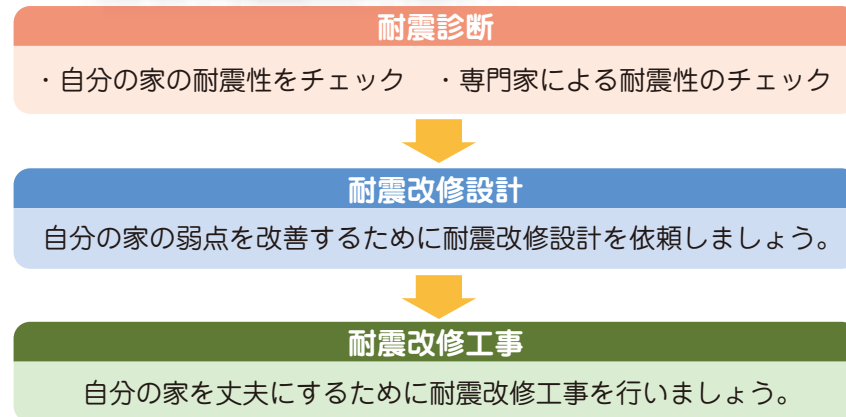
開き扉は中の物が飛び出さないよう留め具を付けます。

額は落ちないように鎖や留め具で固定します。

冷蔵庫は転倒防止器具で固定します。

※ピアノの固定方法については、メーカーや購入店に相談しましょう。

住宅の耐震化の流れ



住宅の耐震化等支援事業

斑鳩町では、次の事業に対して補助事業を行っています。(令和2年度現在)

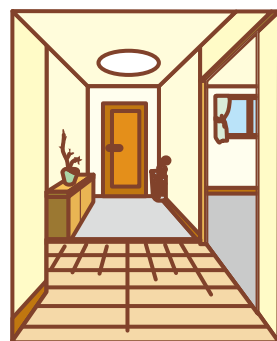
- ◆ 耐震診断
- ◆ 耐震改修
- ◆ ブロック塀等撤去
- ◆ 耐震シェルター設置

※詳しくは、斑鳩町までお問い合わせください。

家の中の安全対策

! 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



! 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋にはできるだけ家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家具が倒れるおそれがあり危険。やむをえず置く場合は、なるべく背の低い家具にするのと同時に、寝ている場所に倒れないよう、また出入口をふさがないように、向きや配置を工夫する。



! 電気火災発生の防止

地震による火災の原因の多くは電気に関連。電気ストーブや電気コンロの転倒や、停電復旧時の通電火災(破損した電気コードのショートによる出火など)がある。電気火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効。

